

※水色と黄色のセルは回答必須(回答すると色が消失)。

送付先:report@r-ict-advisor.jp
(一財)全国地域情報化推進協会

派遣決定番号 163K

報告日 令和7年12月11日

報告回次 3日目

令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	諸塚村			代表者名	藤崎 猪一郎
担当者部署(属性)	その他		担当者部署名	総務政策課	連絡先電話番号 0982651112
担当者役職	主任主事		担当者氏名	松木良晃	連絡先E-mail
住所	8831301 宮崎県諸塚村大字家代2683番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	連絡先部署
担当者氏名	連絡先電話番号

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	「つながる公民館プロジェクト×シェアリングシティ構想」					
概要	諸塚村では、公民館を地域資源共有の拠点とし、地域の人・モノ・場所・スキルなどを見える化・共有するシェアリングシティ構想を推進している。庁内DXとも連携し、住民参加型の仕組みづくりや情報発信体制の整備を進めている。我々は地域資源の整理・デジタル化・運用実証を行い、講師には、ICT導入に関する技術的助言や他地域事例の紹介、住民理解を得るために説明・対話支援、行政内の連携強化に向けたアドバイスなど、構想の実現に向けた伴走的支援をお願いしたい。							
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） AI活用 生成AI活用 シェアリングエコノミー							

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	751	令和7年12月7日	支援・助言&講演	実地
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年11月21日	支援・助言&フォローアップ(実地)	14時00分	16時00分	活動時間（分）
2-2.	会場名	諸塚村役場		最寄駅	日向駅
	派遣場所	宮崎県東臼杵郡諸塚村大字家代2683番地		最寄駅からの交通手段	バス、タクシー又はレンタカー

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようにとどろがよかったです等詳細に）	今回は自治体職員及び住民を対象としたDX勉強会を行った。 前回のワークショップ結果の共有を行い、そのうえで諸塚村に適したDX・シェアリングエコノミー・生成AIの活用方法などご提案を頂いた。 参加者は役場課長級の職員や公民館長が主であまりDXになじみのない方々ではあったが、都度あった質問に対して具体的な事例を交えながらご回答を頂いたため、充実した勉強会となった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	15人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	7	8	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	実際に諸塚村がどのような課題を抱えているのか、村民が考えていることをヒアリングし、それをどう解決していくかを村民に伝えることが難しい。また、今回参加された住民もわずかであり、高齢者やデジタル部門に関心のない住民をどのように巻き込んでいくかを検討する必要がある。
-----------------------	--

支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	現在の自助・公助の仕組みを共助化し、地域に眠っている人・モノ・スキル・時間等のシェアを行うことによって、過疎化や人口減少が進んでいる小規模自治体を持続可能なものとし、地域の発展を図る。また、村政や公民館制度のデジタル化を図り、事務負担の軽減や地域の魅力づくりに貢献する。
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	前回ワークショップを行った結果を共有し、それに基づいたDXやシェアリング、生成AI等の講話を頂いた。村民向けに分かりやすく、具体的な話を頂いた。
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今回の勉強会を通して、村民がどのような思いを持っているのかを理解することができた。今回は若者視点でこれまでにないアイデアを提案できること、DXという概念をインストールできたことがよかったです。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 特になし
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	村民からデジタルやシェアリング・生成AIのような概念を押し付けてくることで本当に村民は幸せになるのか、という本質的な問い合わせがあった。公民館を中心とした自治活動が豊かな地域を形成した事がそれを物語っているが、地域生活を維持するための方法論としてデジタル等の概念も役に立つかもしれないとの方針を示す必要があると感じた。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 次回このような会があった場合に参加したいかとの問い合わせに、全員が参加したいとの回答があった。DXという一般的になじみのない内容ではあったが、次につながるかになったのではと思う。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する 12月に先進自治体の視察研修を行い、視察の結果や意見交換会で出た課題をふまえ今後の内容を検討する。次年度に向け、具体的な政策の検討を行う。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	目的は「諸塙村を100年後も維持すること」。今回は諸塙の公民館制度を利用し、シェアリングビレッジ化する。シェアの文化を根付かせ、村外とのつながりを創出することにより持続可能な地域づくりを行っていく。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載可 ○掲載可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good_practices/past_year_all_houkoku/

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG等）」を数枚程度貼り付けて下さい。

